

【調査の内容】

平成13年に発掘調査した場所と同じところを今回調査しているので、遺物や遺構の新発見はありませんが、今後の整備に活かすために、大鹿窪遺跡の実年代の分析や花粉分析、配石遺構が何に使われていたのかを調べる分析を行う試料の採取を行いました。

また、最近の研究によって、大鹿窪遺跡が使われていたところの前後に、富士山の噴火があった可能性が分かってきたため、富士山から飛んできたテフラ（火山噴出物）についても今回観察や分析を行っています。



写真4 土層剥ぎ取り箇所

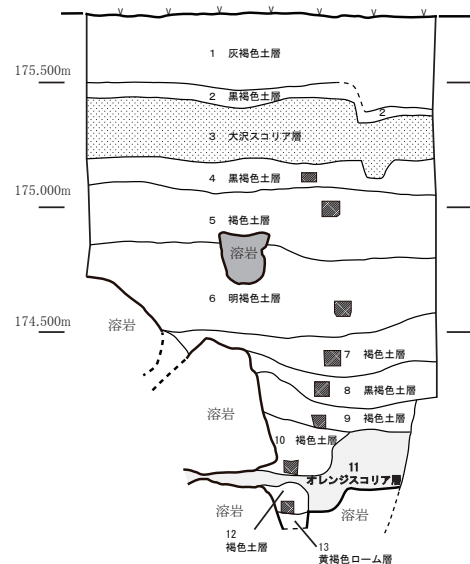


図2 3-1 調査区北壁土層断面図 (1/30)



写真5 土層剥ぎ取りの様子

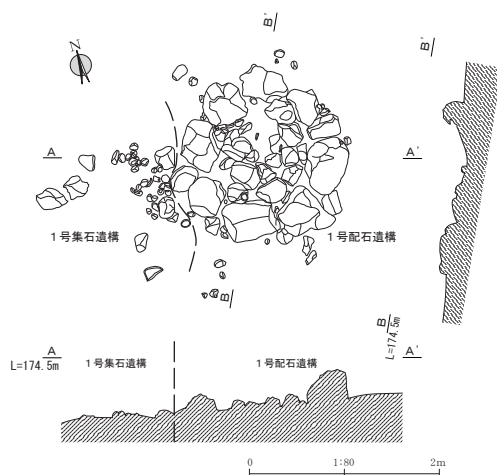


図3 1号配石遺構・1号集石遺構 (1/80)

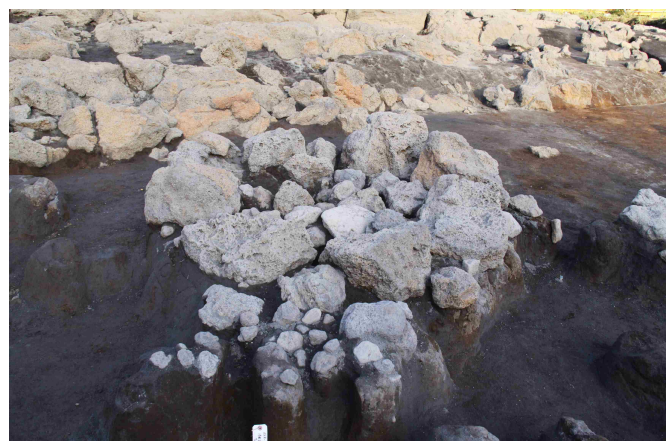


写真6 1号配石遺構

【今後の整備にむけて】

現在、史跡大鹿窪遺跡は埋め戻して保存されていますが、将来に渡って遺跡の重要性を伝えていくため、遺跡の公開活用が不可欠となっています。遺跡の公開活用のため、富士宮市では整備を計画しています。

史跡大鹿窪遺跡の「保護」ため、地中で保存するだけでなく、史跡の本質的価値を正しく理解することができるように「日常的な公園利用の中で縄文文化を体験・学習できる場」として整備をすることを基本理念としています。

そして、土中に残る史跡を壊さないことを念頭に、整備を行うこと、来訪者の便益に資する施設を整備すること、史跡へのアクセスルートを整備すること、史跡の情報発信を行うことを基本方針としています。

史跡の整備を計画的に行うため、全体ゾーニング計画を定めており、集落跡が見つかったエリア（大鹿館の北側）から順に整備していきます。



図3 整備パース図



大鹿窪遺跡の整備について

【お問い合わせ】

富士宮市埋蔵文化財センター

〒419-0315 静岡県富士宮市長貫 747-1

TEL : 0544-65-5151

